



学校だより

2020年5月21日

No.2

射水市立堀岡小学校

校長 佐藤 静香

長い臨時休業を経て、この18日(月)から、分散登校が始まりました。全校の半数とはいえ、久しぶりに学校は子供たちの元気な声が溢れています。

段階的に解除されつつありますがこの緊急事態においては、子供たちはもちろん保護者や地域の皆様も大変なご苦労やご心配が続いていることと思われます。そんな状況の中で、笑顔で登校してきた子供たちの姿に救われる思いがしました。新型コロナウイルス感染症の猛威は決して収まったわけではなく、まだまだ予断を許さない状況が続きます。しかし、少しでも早く日常の暮らしにもどれるよう、一人一人が正しくしっかりと対応し、協力し合うことで乗り越えていきたいものです。

4月当初に次々と花を咲かせていた桜は実が膨らみ、校庭のツツジは満開の時期を終えようとしています。後を受けるように木々の新緑が目にも鮮やかに映り、季節は初夏のよそおいを見せ始めました。さわやかな風がふきわたり、校庭の環境ひとつとっても、堀岡小学校は素晴らしい学校です。今はまだ午前中のみ登校ですが、本格的な授業再開に向け、この整った学び舎で、子供たちが安心してそして安全に学校生活を送ることができるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。今後ともご理解・ご支援のほどよろしくお願いします。



【見事に咲きそろったツツジ】

久しぶりの授業、友達といっしょって楽しいな

休業中は、自分で課題を進めるなど、これまでとは違って一人での学習が多かったことと思います。学校でも3密を避けるため、集団での生活は何かと制限され、これまで通りにはいかないことが多くなっています。

しかし、子供たちにとっては、やっぱり一人よりもみんなといっしょに過ごすことが大切ですね。マスク越しに嬉しそうに話したり、アイコンタクトでにっこり笑顔を見せたりする様子から、仲間といっしょに過ごすことのよさや楽しさを感じていることがうかがえます。

学校では、廊下の間仕切りを外したり、窓を開けて換気に気を付けたり、手洗いをしっかり行ったりと感染防止に努めています。マスクの着用や清潔なハンカチを持たせていただくなど、ご家庭でもどうかご協力をお願いします。



【廊下との間仕切りを外して風通しよく】



【使った後の蛇口に水をかけよう】



【きれいなハンカチで手をふこう】



【机の間隔をとって過ごそう】

臨時休業期間中にも、植え込みの間に生えてきた雑草を取り除いてくださったり、手作りマスクやお庭で育てたお花を持ってきてくださったりと、地域の方々が学校の様子を気遣って下さいました。また、分散登校が始まると早速登下校の見守りに出てくださるなど、多くの方々の温かなお気持ちを心よりありがたく思っております。今学校が無事にあるのも、地域や保護者の皆さんのお力添えがあってこそです。決して当たり前には思っていないこと、感謝の気持ちを忘れないでほしいことを教職員にも子供たちにも伝えていきたいと思ひます。

また学校では、新型コロナの影響など先行きの不安が大きい今だからこそ、ただ現状に流されるのではなく、子供たちがこれからの時代をたくましく生き抜く力を身に付けていくことができるように取り組んでいきたいと考えています。世界中の誰もが経験したことのない事態の中で、誰もが不安を感じ、誰もが正解を知らないからこそ、力を合わせ、関わり合いながら手を携えて乗り越えていくことが大切であるといわれます。ご意見、ご相談等ありましたら、いつでも学校までお知らせください。

校庭の樹木・草花たち

校庭にはたくさんの樹木や草花たちが、子供たち同様元気に育っています。いわゆる雑草も含めるとかなりの種類です。名前の分からないものも多いのですが、調べてみるとちょっとした図鑑ができそうです。いくつかを紹介します。



アイビーとミント



サクラランボ



ニセアカシア(槐)の仲間



スズラン



シラン



アイリス



ワスレナグサ



この3つは名前が不明ですが、それぞれかわいい花をさかせています。



ハナミズキ



中庭のケヤキに小鳥の巣が…。こちらへんです。



2年生教室から見た満開のツツジ